



市長記者会見

期 日 令和4年6月10日（金）

時 間 午前10時～

場 所 対策室

発表内容

- 1 新型コロナワクチンの小児と若者の接種促進について
(保健衛生部)
 - 2 全市一斉地震対応訓練の実施について (危機対策課)
 - 3 令和4年度新潟市二十歳のつどいの開催について
(地域教育推進課)
 - 4 「消費者教育教材資料表彰 2022」の受賞について
(市民生活課)
 - 5 新潟市デジタル行政推進本部の設置について
(デジタル行政推進課)
 - 6 マイナンバーカード普及促進について (市民生活課)
- (配布資料なし)
- 7 ウクライナ避難民の受け入れについて (国際課)



新型コロナウイルスに係るワクチン接種の概況

集計 令和4年6月8日時点

【速報値】

接種対象者ベース

| 年齢階級 | 対象人口 A | 第3回 | | 第2回 | | 第1回 | |
|---------|-----------|-----------|--------------|-----------|--------------|-----------|--------------|
| | | 接種回数 B | 接種率 (B÷A) | 接種回数 C | 接種率 (C÷A) | 接種回数 D | 接種率 (D÷A) |
| 合計 | 759,291 | 508,681 | 71.1% | 649,179 | 85.5% | 653,174 | 86.0% |
| 【内訳】 | | | | | | | |
| 65歳以上 | 242,000 | 213,487 | 88.2% | 220,831 | 91.3% | 221,218 | 91.4% |
| 60歳～64歳 | 47,405 | 40,457 | 85.3% | 43,905 | 92.6% | 43,936 | 92.7% |
| 50歳～59歳 | 104,658 | 81,690 | 78.1% | 95,624 | 91.4% | 95,714 | 91.5% |
| 40歳～49歳 | 111,439 | 71,283 | 64.0% | 98,474 | 88.4% | 98,625 | 88.5% |
| 30歳～39歳 | 84,480 | 45,310 | 53.6% | 72,207 | 85.5% | 72,431 | 85.7% |
| 20歳～29歳 | 70,863 | 35,821 | 50.5% | 60,934 | 86.0% | 61,221 | 86.4% |
| 12歳～19歳 | 54,155 | 19,356 | 35.7% | 44,818 | 82.8% | 45,096 | 83.3% |
| 5歳～11歳 | 44,291 | | | 5,920 | 13.4% | 7,989 | 18.0% |
| 年齢情報なし | | 1,277 | | 6,466 | | 6,944 | |

- 対象人口（各年齢階級別）は、R3.3月末時点住民基本台帳人口を基にしたR4.3月末時点の推計値。ただし、3回目接種の対象人口は、5歳～11歳を含まないため715,000人となる。
- 接種回数は、ワクチン接種記録システム（VRS）に基づく実績値。ただし、年齢が不明なものは年齢階級別に計上していない。

【参考】総人口ベース

| | 総人口 A' | 第3回 | | 第2回 | | 第1回 | |
|----|-----------|-----------|---------------|-----------|---------------|-----------|---------------|
| | | 接種回数 B | 接種率 (E÷A') | 接種回数 C | 接種率 (C÷A') | 接種回数 D | 接種率 (D÷A') |
| 合計 | 784,774 | 508,681 | 64.8% | 649,179 | 82.7% | 653,174 | 83.2% |

- 総人口は、首相官邸ホームページで公表している接種回数の統計に合わせ、総務省が公表している令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）のうち、性別及び年齢階級の数字を集計したものを使用。

【問い合わせ先】

新潟市保健衛生部 コロナワクチン接種推進担当課長 明間
電話：025-212-8173（直通）



5歳から11歳の小児及び若年層に向けた集団接種の実施について

5歳から11歳の小児及び12歳から29歳の若年層を主な対象とする集団接種会場を、下記のとおり開設する予定です。詳細は決まり次第お知らせします。

記

1. 5歳～11歳の小児向けの集団接種会場（1・2回目接種）

（1）接種日

1回目：令和4年7月8日（金曜）、9日（土曜）、15日（金曜）、16日（土曜）

2回目：令和4年7月29日（金曜）、30日（土曜）、8月5日（金曜）、6日（土曜）

（2）会場

桜木ショッピングセンター

（3）使用ワクチン

小児用ファイザー社製ワクチン

2. 12歳～29歳向けの集団接種会場（3回目接種）

（1）接種日

3回目：令和4年7月21日（木曜）～23日（土曜）、8月26日（金曜）、27日（土曜）

（2）会場

桜木ショッピングセンター

（3）使用ワクチン

ファイザー社製ワクチン

◎本件に関するお問い合わせは午後5時30分までをお願いします。

【問い合わせ先】

新潟市保健衛生部 コロナワクチン接種推進担当課長 明間
電話：025-212-8173（直通）

全市一斉地震対応訓練の実施について

1 趣旨

昭和39年6月16日に発生した新潟地震の教訓を風化させることなく、今後起こりうる大地震発生時の行動について、市民の皆さま一人ひとりが災害を自分のこととして認識・行動する防災力の高いまちづくりを目指す。

2 内容

日時：令和4年6月16日（木）13時2分～

内容：①地震対応訓練

新潟地震の地震発生時刻と同じ13時2分に地震が発生したという想定で、その場に応じた身を守る行動を実施する。

②情報伝達訓練

13時3分ころから、大津波警報が発表されたという想定で緊急速報メール、同報無線、にいがた防災メール、新潟市LINE公式アカウントなどにより情報伝達を行い、各自で情報が受信できるか確認する。

③本部会議訓練（津波関連部分）

13時30分から、発災直後の津波による被災・被害状況について各区等から報告を受け、災害対策本部においてそれらを把握・共有するとともに、初動対応に係る市長の指示・留意事項等を徹底する。

<お問い合わせ先>

新潟市危機対策課（担当者 西野）

電話025-226-1146（直通）



ジージョ キョージョ
新潟市防災マスコットキャラクター

2022年 新潟市全市一斉



携帯電話の
緊急速報メールが
一斉に鳴ります。

※緊急速報メールは、携帯電話の機種や設定、通信状態により鳴動しない場合もあるので事前にご確認ください。

地震対応訓練

訓練はどなたでも参加いただけます。
みんなで、その場で、地震対応訓練！

実施日時 6月16日(木) 13時2分～

訓練場所 学校、職場、自宅など

※本市または近隣市町村で震度5弱以上の地震、避難情報が発令される災害が発災したときには訓練を中止します。

～新潟地震とは～

昭和39年6月16日13時2分、新潟県粟島南方沖の深さ約40kmを震源として発生した地震で、規模はM7.5、最大深度は当時の基準で震度5。県営川岸町住宅が倒れるなど、液状化現象による被害が多数発生、また市内を津波が襲った。

13時2分

13時3分

地震発生

地震対応訓練

※緊急地震速報は鳴りません

情報伝達訓練

※実際の避難は実施しない

訓練終了

地震対応訓練はその場で身を守る安全行動を取って下さい。

- ・机やテーブルの下に避難してください。
- ・塀など崩れやすい建物から離れてください。
- ・姿勢を低くし頭をカバンなどで守ってください。



車を運転中の場合

- ・安全な場所に停車し、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。
- ・高速道路上では、安全な場所に停車し、車内で姿勢を低くしてください。

携帯電話の緊急速報メールが一斉に鳴ります！

【訓練】このメールは新潟市の訓練配信です。これは新潟市の訓練配信です。本日は新潟地震が発生した日です。災害時には緊急情報が各種ツールで配信されます。
【配信例文】『避難指示』を発令新潟県上中下越に大津波警報が発表されました。高い所へ緊急に避難してください。詳細はテレビ・ラジオ・市HPで確認ください。

13時3分に市から同報無線、緊急速報メールなどで、震度6強地震による「大津波警報」を情報配信します。情報を受け取った人はどのような手段で情報を受け取れるか確認してください。

情報伝達訓練で鳴動するツール

- 防災行政無線（同報無線）
 - NTTドコモ エリアメール
 - KDDI 緊急速報メール
 - ソフトバンク 緊急速報メール
 - 楽天モバイル 緊急速報メール
 - ツイッター
 - いしがた防災メール
 - Yahoo!防災速報アプリ
 - 新潟市HP
 - 新潟市LINE公式アカウント
 - 新潟県防災ナビ
- 詳細は裏面をご覧ください。

エリアメール・緊急速報メールとは災害などの緊急時において、各携帯電話事業者のネットワークを介して、新潟市内の基地局エリア内にある対応携帯電話へ一斉に同時配信するサービスです。新潟市にお住まいの方はもちろん、一時的にエリア内にいる通勤者、旅行者などへも情報提供します。

お問い合わせ

新潟市役所 危機管理防災局 危機対策課

電話：025-226-1146 FAX：025-224-0768
Eメール：kikitaisaku@city.niigata.lg.jp

(注意) エリアメール、緊急速報メールの設定については、ご契約の各携帯会社にお問い合わせください。

訓練詳細
については
こちら



避難情報等の伝達、入手方法

新潟市公式 LINE アカウント

防災、子育て、新型コロナ情報など生活に密着した情報の中から、選択した情報だけを、LINE でタイムリーにお届けします。
防災情報には避難情報のほか定期的な啓発情報をお知らせします。

登録はこちら



にいがた防災メール

登録いただいた方へ、避難情報など災害に関して緊急を要する情報や定期的な啓発情報をメールでお知らせします。

登録はこちら



Twitter

新潟市危機管理防災局の公式 Twitter アカウントです。
Twitter を利用して災害に関する情報を配信します。

フォローはこちら



Yahoo!防災速報アプリ

スマートフォンアプリを活用して市内を対象とした防災情報などを配信します。

ヤフー防災速報

検索



令和4年度新潟市二十歳のつどいの開催について

- 1 名称 式典の名称を、「成人式」から「二十歳のつどい」に変更します。民法改正に伴い、成年年齢が令和4年4月1日より20歳から18歳に引き下げられましたが、式典は今までの成人式と同様、20歳を対象とします。
- 2 日時 令和5年1月8日（日）
第一部 12時30分開式（11時30分開場）
第二部 15時30分開式（14時30分開場）
- 3 会場 朱鷺メッセ 展示ホール（新潟市中央区万代島6-1）
- 4 対象者 平成14年4月2日から平成15年4月1日に生まれ、新潟市に住民登録のある方
参加対象 第一部 中央区・江南区・西区
第二部 北区・東区・秋葉区・南区・西蒲区

- ・昨年度と同様の新型コロナウイルス感染防止対策を行う予定です。
- ・式典開催案内の方法等については、後日決定次第、ホームページ上に掲載します。
（転居等の理由により、新潟市に住民登録のない方についても参加可能です。）

※ 式典については、新型コロナウイルス感染症の状況等によって、開催方法等を変更する場合があります。

お問い合わせ先 新潟市教育委員会 地域教育推進課
担当：笠井、浦部
電話025-226-3218

「消費者教育教材資料表彰2022」の受賞について

- 主 催 公益財団法人 消費者教育支援センター
- 趣 旨 学校における消費者教育の充実・発展に寄与することを目的に、行政、企業・業界団体、消費者団体等から教材を募集し、教育現場で役立つ優秀な教材を表彰
- 応募教材 新潟市消費生活センター発行（小学校用教材としてWeb上に掲載）
“ぼくも わたしも みんなが消費者 —社会をかえるエシカル消費—”
- 受 賞 消費者庁長官賞
- 評価ポイント 「エシカル消費※」について、児童が楽しみながら学べる設計で、アクティブラーニング（主体的・能動的な学習）にも対応しており、本教材と、学年・教科との関連が示されているなど、教員にとって活用しやすい工夫が評価
※やさしい、思いやり、かしこい消費、「だれかのことや社会のことを考えて行う消費」
- 授 賞 式 6月27日（月）、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）



教材の URL：<https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/shohi/keihatsuinfo/esikarusyohi/html>



【お問い合わせ先】
市民生活部市民生活課
消費生活センター 溝井
電話 025-228-8102（直通）

新潟市デジタル行政推進本部を立ち上げました。

行政のデジタル化の推進が大きな課題となる中、デジタル化により市民の利便性が向上するよう、新潟市デジタル行政推進本部を5月30日に設置しました。今後は、推進本部を中心に全庁を挙げて行政サービスのデジタル化の取組を推し進めていきます。

【推進本部体制】

- ・本部長：市長
- ・副本部長：副市長
- ・本部員：全部長及び全区長を含む39名
- ・取組：①行政手続のオンライン化の推進（原則令和7年度末まで）
②住民記録などの業務システムの標準化の推進（令和7年度末まで）
③マイナンバーカードの普及促進及び利活用の推進
- ・本部事務局：デジタル行政推進課



【お問い合わせ先】

デジタル行政推進課 新飯田、川上
電話 025-226-2470（直通）

令和4年6月10日
新潟市記者発表資料**マイナンバーカード普及促進について**

マイナンバーカードは、さまざまなメリットがあり生活を便利にします。この機会にぜひ取得してください。

【申請機会の拡充】**○出張申請サービス**

新潟市職員が商業施設などに出張し、申請をお手伝い。

カードは原則として後日簡易書留で自宅へ郵送。

※6月18日（土）イオンモール新潟南、6月19日（日）デンカビッグ スペースショール Eゲート前広場

6月22日（水）・23日（木）イオン白根店

ほか市内各地で開催

○休日申請サービス開始（6月4日（土）より）

マイナンバーカード休日交付センター（NEXT21・2階、新潟市パスポートセンター内）にて、新規申請の全市民を対象に申請補助サービスの受付を開始。受付は土・日・祝日、時間は午後1時～4時。

【お得なキャンペーン実施中】**○（国）マイナポイント第2弾（9月30日カード申請分まで）**

最大2万円分のキャッシュレス決済サービス用ポイントを付与。

- | | |
|---|------------------------------------|
| ① | マイナンバーカードの新規取得で5,000円分（第1弾未申込者を含む） |
| ② | 健康保険証としての利用申込みで7,500円分（6月30日開始） |
| ③ | 公金受取口座の登録で7,500円分（6月30日開始） |

○（新潟市）カード郵送交付キャンペーン（令和5年3月17日カード申請分まで）

出張申請サービス、または区役所窓口での申請補助サービスにより、カードの郵送交付を希望した方に「新潟市・佐渡市共通商品券 1,000円分」を進呈。

【マイナンバーカード特設サイトを公開】**○出張申請サービスの開催情報など、カードに関する情報を掲載**

URL：<https://mynumber-niigatacity.com/>

**【お問い合わせ先】**

市民生活部市民生活課 捧、牧野

電話 025-226-1013（直通）